

農業の進歩

品種改良の話

(四七) 農試本場天辰生

二、劣性の子孫については、いづれの株でも分離が起らず、親と同様劣性のものは、純粋固定してゐたものである。

かくてF₃に於て分離の起らなかつたものは優性にせよ劣性にせよ、既にF₂に於て固定してゐたものと之れから先何代栽培するも變ることはない、F₃に分離の起つたF₂の個体は全くF₁と同様の構造をもつてゐたもので分離したF₁はF₁のF₁と全く同様の意味をもつてゐる、従つてそこには雑種第二代と同じく優性固定一、雜種二、劣性(固定)一の割合から成り立つてゐるものであるかくて代々の雜種は常にF₁の割合に分離して行くのである、而して(單位雜種分離)單位雜種分離と云ふのは一つの形質(例へば花の色とか、草丈とか云つたもの)について雜種を考へる時これを單位雜種と云ふのであつて、二つの形質を組み合わせる時は之を兩性雜種と云ふ、例へば草丈高く花色の赤いものと草丈低く花色の白いものとを交配してこの二つの形質を同時に考へる時は兩性雜種となるのである、三性雜種その多性雜種も同様に理解出来る、雜種が常にその兩親の一方の形質を現はす場合即ち優性形質が完全に劣性形質を隠蔽する場合は以上に説明した通りであるが、之とは多少趣きを異にして雜種が常に兩親の中間型を現はす

場合がある、この最も理解し易い例はオシロイ花の色について觀察された事實であらうオシロイ花の赤花種と白花種の交配では雜種第一代に於ては兩親の中間の色即ち桃色が全体の色に現はれる白花授精により雜種第二代を栽培すると赤、桃色、白が1:2:1の割合に現はれる、

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 用命は **三三三屋** 平町 田町

お醤油は ヤマフル

醤油味 旨 たっぷり 正宗 鯉節食料品

山崎合名會社

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

産科 婦人科 院長 長木村寅次郎

外科 醫學博士 内木宗八

藥局 藥劑師 立蕃彌一

平町新川町九一

入院隨意 病室完備 **木村病院**

電話一六四番

鼻の諸病に快鼻湯

有効 保證

本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用薬並に内服薬を用ひ全治せざる方々及び手術後再發せし方々も本劑の服用により快癒された喜びの禮狀が各地から参つて居ります

効能 蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に神効の實験を受く

(快鼻湯) 製劑販賣元 **水野藥局**

磐城平町一丁目(電話六九九番) 振替口座仙台(八八七六番)

耳鼻咽喉科専門

醫學士 鈴木正男

平町田町(電話五八番) 藤田女學校前

入院應需 **鈴木醫院**

債券 公債 兩替 金融

多田井質店

平町八丁町 電話五九二番

煙突は 朝日

石綿セメント

朝日煙突

總代理 金屋商店

石綿セメント 朝日煙突

煙突は 朝日

石綿セメント

朝日煙突

總代理 金屋商店

有給外務員招聘

日掛は金十銭以上金五十銭まであります六ヶ月以上御掛けに成れば一ケ年分前貸致します

一ケ年御掛けになれば年五分に相當する配當があります

平町南町一九

一徳合資會社平支店

出張所 四倉町本町九九 湯本町三番二〇一

石炭 平町郵便局通り

コークス 水野石炭店

豆炭 電話二九九番

(磐城共済病院) 福島縣平町

内科 醫學博士 山謙 一郎

小兒科 醫學士 賀一忠

産婦人科 醫學博士 五十嵐雄二

外科 醫學士 坂本眞一郎

皮膚泌尿科 醫學士 山澤

器病科花柳病科 醫學士 山澤

X線科 醫學博士 山澤

衛生試驗所 醫學士 山澤

藥局 藥劑師 鈴木本寶

事務局長 鈴木本寶

(毎日午前八時より午後十時迄診察) 病室完備 入院隨意

強力殺虫劑

賣り行き 盛んなる

ネオマツゾール (白製品)

片腦油 (白製品)

ハイトリ粉

夏季、衛生藥事の御相談は 是非 弊店へ

胃腸藥發賣元 **山野邊藥局**

藥劑士 山野邊東次郎

平看護婦會

新時代の要求

附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します

平町南町 電話三〇七

御手不足の御家庭 御病人の付添妊婦 産婦の御家庭